

皆さま、講師研究会でお世話になりました舘野です。講師研修会にご参加いただきありがとうございました。研修会で学んだ内容を、ぜひみなさまの講習の中で活かしていただきたいと思います、これから6回にわたって、研修内容を思い出すような「問いかけ」を行います。

この「問いかけ」をもとに、テキストを復習していただき、研修に活かしていただければと思います。

【6つの問いかけ】

1. 「研修」の定義を覚えていますか？
 2. 「とりあえず新しい方法を取り入れればよい」という状態になっていませんか？
 3. 「最初の7分間」に集中していますか？
 4. 「参加者の状態」を把握しようとしていますか？
 5. 「グループワーク」を効果的にするための工夫をしていますか？
 6. 「振り返り」を効果的にする工夫をしていますか？
-

5. 「グループワーク」を効果的にするための工夫をしていますか？

講師研修会でも話をしましたが、「グループワーク」を取り入れることは、学習を深める上で有効なことは研究成果などから明らかになっています。つまり、「グループワーク」を入れるか入れないかという議論は必要なく、「グループワーク」をどのように取り入れるかが重要になってきます。

例えば、グループワークを「講義の前」にやるか、「講義の後」にやるのがいいのか、こういうことも一つのポイントになります。

中原先生の資料にこの問題があったのを覚えていますか？

統計の授業です。活動は「先生による知識解説」と「グループでの話し合いに

よる問題解決」の2つです。3週間後の学習効果、どちらが高いですか？

「A. 先生が教えてから、グループで話し合っ問題解決させる」

「B. グループで話し合っ問題解決させて、先生が教えること」

正解は B でした。こういった知識を持っているだけでも、グループワークがより効果的な学びの時間となります。

グループワークの活動は「自由にどうぞ」とやると、うまくいかない場合も多いです。ポイントを押さえる必要があります。

例えば、講師研修会で紹介した方法として、以下のものがありました。

- ・ グループワークにおける「自分の役割」を宣言させておく
- ・ タイムキーパーを置く
- ・ チーム名を考えさせる
- ・ グループで話す前に「個人で付箋を書く時間を設けてから話してもらう」
- ・ グループワークの時間は短めに伝えておく
- ・ 付箋の色を使い分ける
- ・ グループサイズを小さめにする（4～5人）
- ・ 他のグループの議論を見に行く

この他にもグループワークの工夫はこちらの冊子にまとまっています。ぜひそちらも参照してみてください。

+15 minutes

<http://www.kals.c.u-tokyo.ac.jp/dalt/15-minutes/>